

宣言項目	事業名	新規継続終了	事業概要	担当部署	成長段階	令和4年度個別事業の取組実績			令和5年度個別事業の取組実績		
						予算額 (千円単位)	決算額 (千円単位)	取組成果	予算額 (千円単位)	決算額 (千円単位)	取組成果
(1) 私たちは、子どもたちの可能性を伸ばします	「親の力」をまなびあう学習プログラム	継続	保護者の学びの場を提供し、家庭教育の支援のための参加型学習の実施	文化と学びの課	妊～高	家庭教育支援事業を含む	家庭教育支援事業を含む	地域子育て支援センターを利用する親子・母子保健推進員などを対象に講座の実施。 実施回数：32回 参加人数：337人	家庭教育支援事業を含む 30千円	家庭教育支援事業を含む 30千円	地域子育て支援センターを利用する親子、母子保健推進員、小中学校PTA、小学校児童を対象に講座を実施。26講座参加者439人
(1) 私たちは、子どもたちの可能性を伸ばします	ブックスタート事業	R04終了	親子の心触れ合うひとときを持つきっかけをつくり、親子の絆を深めることを目的に乳児と保護者に対して絵本の楽しさを伝え、絵本をプレゼント	子育て支援課	乳	455千円	436千円	配布数：299人（4か月乳児検診時等）	—	—	—
(1) 私たちは、子どもたちの可能性を伸ばします	乳幼児ふれあい事業	R01新規	高校生が乳幼児とふれあう機会を提供し、家族の大切さ、命の大切さを実感し、将来のライフイベントを考えるきっかけとする。	子育て支援課	高	—	—	新型コロナウイルス感染症拡大のため実施見合わせ	—	—	新型コロナウイルス感染症が5類に移行したが、感染症対策を考慮し、実施を見合わせた。
(1) 私たちは、子どもたちの可能性を伸ばします	リズムあそび推進事業	継続	乳幼児期に身に付けるべき「からだ」「こころ」「言葉」の発達を促進	子育て支援課	乳・幼	41千円	41千円	各保育所のスキルアップ研修に位置付け、指導者が役割分担し指導にあたった。子どもたちが、楽しみながらあそびが広がる環境づくりに取り組んだ。 参加者：延177人	80千円	80千円	各保育所のスキルアップ研修に位置付け、指導者が役割分担し指導にあたった。子どもたちが、楽しみながらあそびが広がる環境づくりに取り組んだ。 参加者：延156人
(1) 私たちは、子どもたちの可能性を伸ばします	赤ちゃん教室	継続	親子のふれあいや遊び、マッサージなどについて学ぶ教室等を開催	健康推進課	乳・幼	—	—	親子のふれあいや遊び、マッサージなどについて学ぶ。教室実施回数：12回 参加人数：（子ども82人、保護者81人、延163人）	—	—	親子のふれあいや遊び、マッサージなどについて学ぶ。教室実施回数：12回 参加人数：（子ども93人、保護者103人、延196人）
(1) 私たちは、子どもたちの可能性を伸ばします	こどもの「遊び」推進事業	継続	子育て世代の親子に対し、親子の共感や絆を深めるため、みよし森のボックを拠点に、木育による「遊び」を推進	子育て支援課	乳～小	13,974千円	12,564千円	季節や天候に左右されず、親子が安心して遊べる場所「みよし森のボック」を運営し、親子のふれあいと、木のおもちゃを中心とした木育を推進した。 入館者数：27,790人	25,593千円	20,507千円	季節や天候に左右されず、親子が安心して遊べる場所「みよし森のボック」を運営し、親子のふれあいと、木のおもちゃを中心とした木育を推進した。記念イベントを実施した。親子で楽しめる工作ワークショップを毎月開催した。 入館者数：34,332人
(1) 私たちは、子どもたちの可能性を伸ばします	家庭教育支援事業	継続	家庭教育力の向上をめざすために、地域での家庭教育支援チームの検討など、家庭教育支援に関する事業の実施	文化と学びの課 子育て支援課 健康推進課	幼～高	214千円	137千円	家庭教育支援チームへの支援として、物的支援を行うと共に、社会教育委員と合同の研修会を開催するなど、人的支援も行った。	111千円	31千円	新たな家庭教育支援チームの設立に向けた取組を行った。
(1) 私たちは、子どもたちの可能性を伸ばします	「育ちと学びをつなぐ」幼保小連携教育の推進事業	R01新規 R04終了	幼稚園・保育所・小学校の教員等が協議して接続の取組を進め、子どもの育ちと学びを連続させていく幼保小連携教育の充実への支援	学校教育課	幼～小	299千円	299千円	・三次市幼保小連携教育合同研修会の開催 運営、講師招聘 ・三次市幼保小連携推進協議会 運営、講師招聘	—	—	—
(1) 私たちは、子どもたちの可能性を伸ばします	体験活動充実事業 (令和元年度まで) みよし版わくわく体験活動推進事業	継続	三次市内外における長期宿泊体験活動を実施することに対する経費の援助	学校教育課	小	1,000千円	823千円	市内19校の小学校が1日または2日の体験活動を実施	1,000千円	816千円	市内17校の小学校が1日または2日の体験活動を実施
(1) 私たちは、子どもたちの可能性を伸ばします	環境活動の支援	R01新規 R02終了	小学校などで行う希少動植物の保護活動などの環境学習・活動の支援	環境政策課	小	—	—	—	—	—	—
(1) 私たちは、子どもたちの可能性を伸ばします	三次版学校ICT活用事業 (R2年度まで) 小中学校ネットワーク整備事業 (R元年度まで) 学校ICT整備事業	継続	小中学校へICT機器を導入し、情報手段を適切に活用し、社会変化への対応力を養成	学校教育課	小・中	30,710千円	31,534千円	・タブレット端末やネットワークの保守 ・インターネット回線利用料やフィルタリングソフトの活用	31,661千円	31,561千円	・タブレット端末やネットワークの保守 ・インターネット回線利用料やフィルタリングソフトの活用
	《三次版学校ICT活用事業》 ICT教育サポート事業 (R2年度) ICT活用推進事業 (R元年度まで) 学校ICT整備事業	R4終了	ICT機器を効果的に活用した学力向上への取組			9,570千円	9,570千円	・ICT支援員が定期的に全学校を巡回し、児童・生徒や教職員への支援を行った。（延べ127回） ・ICT機器の効果的な活用方法や学習支援ソフトの活用方法などについてICT支援員から学び、ICT機器を活用した効果的な授業づくりにつながった。	—	—	—

宣言項目	事業名	新規継続終了	事業概要	担当部署	成長段階	令和4年度個別事業の取組実績			令和5年度個別事業の取組実績		
						予算額 (千円単位)	決算額 (千円単位)	取組成果	予算額 (千円単位)	決算額 (千円単位)	取組成果
(1) 私たちは、子どもたちの可能性を伸ばします	学校支援員等配置事業【市費教員】 (R元年度まで) 学力ぐんぐん事業 ①ぐんぐん教員 (R4年度まで) 個々の学び支援事業	継続	個に応じたきめ細やかな指導をすることにより、確かな学力の定着と学習意欲の向上を図るために、市費教員を採用	学校教育課	小・中	12,052千円	7,783千円	・中学校の数学科において、非常勤講師1人任用 ・複式学級のある小学校に理科支援教員を配置し、実験補助や理科指導の充実を進めるとともに、外国語指導員を配置し、外国語教育の充実に取り組んだ。	10,779千円	8,137千円	複式学級のある小学校に理科支援教員を配置し、実験補助や理科指導の充実を進めるとともに、外国語指導員を配置し、外国語教育の充実を図る。
	学力調査実施事業 (R4年度まで) 個々の学習支援事業 (R元年度まで) 学力ぐんぐん事業	継続	児童生徒の基礎的・基本的な知識及び技能を確実に習得させるため、学力到達度検査の実施と問題データベースを提供（問題データベース提供はR4で終了）			9,721千円	9,621千円	・タブレット用ドリルを活用し、個々の進度にあわせて学習を進め、児童・生徒の基礎・基本の定着を図った。 ・個々の学習の定着度を測り、学校における課題を明確にするとともに、指導内容や指導方法の改善・充実を図るため、全小中学校で学力到達度検査を実施した。	4,029千円	3,901千円	個々の学習の定着度を測り、学校における課題を明確にするるとともに、指導内容や指導方法の改善・充実を図るため、全小中学校で学力到達度検査を実施した。
(1) 私たちは、子どもたちの可能性を伸ばします	特色ある学校づくり創造事業	R01終了	地域や子どもの実態に応じた学校独自に創意工夫した豊かな教育内容の創造や教育活動を支援（経費の支援）	学校教育課	小・中	—	—	—	—	—	—
(1) 私たちは、子どもたちの可能性を伸ばします	小中一貫教育充実事業	R02新規	地域や子どもの実態に応じた学校独自に創意工夫した豊かな教育内容の創造や教育活動を支援（経費の支援）	学校教育課	小・中	2,000千円	1,840千円	キャリア教育を軸に、共通の教育課程「コアカリキュラム」と、各中学校区の特徴を活かした「オリジナルカリキュラム」を全ての中学校区で行った。また、三次中学校区をモデル地区に指定し、中学校区に一つの学校運営協議会を設置して、コミュニティ・スクールを導入。	2,020千円	1,892千円	「コアカリキュラム」と「オリジナルカリキュラム」を全ての中学校区で行った。また、新たに5中学校区に学校運営協議会を設置して、コミュニティ・スクールを導入した。
(1) 私たちは、子どもたちの可能性を伸ばします	子ども文化芸術ふれあい事業	継続	芸術文化の振興のため、子どもたちに芸術文化に触れる機会を提供（舞台芸術・音楽・映画など） 日頃の練習の成果を大舞台上で発表する機会を提供。	文化と学びの課	小・中	6,133千円	1,151千円	・小・中学生芸術鑑賞事業 新型コロナウイルス感染症の影響で公演事業（広島交響楽団オーケストラ教室）は中止となった。市内美術館等の見学鑑賞 630人 ・三次きらきらコンサート 市内中学校6校生徒83名参加 三次市民ホールで交替演奏、記録DVD作成	5,800千円	1,953千円	芸術への関心を深めるとともに、豊かな感性を育む教育の一環として実施。 【公演事業】 ・広島交響楽団オーケストラ音楽鑑賞教室等 小学校4校、653人 中学校2校、212人 【美術鑑賞事業】 ・市内美術館等の見学鑑賞 小学校9校、270人
(1) 私たちは、子どもたちの可能性を伸ばします	真田一幸スポーツ・文化子ども育成事業補助金	継続	市内のおおむね18歳以下の子どものスポーツ・文化の振興と育成に対する活動助成及び用具整備	文化と学びの課	小～高	10,000千円	7,045千円	・補助金交付：市内58団体 ・カーター記念球場・三和総合運動公園・甲奴水泳プールで使用する用具購入	10,000千円	7,795千円	・補助金交付：市内68団体 ・三次市営球場、甲奴市営プール、君田テニスコート、三和コミュニティスポーツ広場テニスコート、吉舎テニスコートで使用する用具購入
(1) 私たちは、子どもたちの可能性を伸ばします	青少年体験活動事業補助金	継続	市内のおおむね18歳以下の青少年を対象に、自然体験活動などを行う団体に対する助成	文化と学びの課	小～高	400千円	400千円	・活動助成：市内4団体	400千円	400千円	・活動助成市内4団体 自然体験活動、伝統文化茶道体験教室、1週間キャンプ活動に助成
(1) 私たちは、子どもたちの可能性を伸ばします	魅力ある高校づくり支援事業	R02終了	市内3高校における魅力向上につながる校内活動や地域貢献活動を支援	文化と学びの課	高	—	—	—	—	—	—
(1) 私たちは、子どもたちの可能性を伸ばします	高校生地域活動支援事業	R03新規	市内3高校における高校生が取り組む地域振興または地域貢献活動に対する支援	文化と学びの課	高	1,800千円	444千円	市内高等学校の生徒が取り組む地域振興・地域貢献に関する活動を支援し、強度に愛着と誇りを持つ人材の育成を図った。 三次青陵高校 ・足踏み式消毒液スタンドメンテナンス及び修理 ・プログラミング教室開催 日影館高校 ・地域清掃、草刈り活動 ・人形劇開催 ・「ようこそ先輩」講演開催	900千円	360千円	市内高等学校の生徒が取り組む地域振興・地域貢献に関する活動を支援し、強度に愛着と誇りを持つ人材の育成を図った。 三次高校 ・河川環境調査 三次青陵高校 ・プログラミング教室開催 日影館高校 ・地域清掃、草刈り活動 ・人形劇開催 ・地域住民との交流会開催 ・「ようこそ先輩」講演開催
(1) 私たちは、子どもたちの可能性を伸ばします	地域学校協働活動支援推進事業	R03新規	地域住民等と学校が共同して行う「地域学校協働活動」の推進	文化と学びの課	小～中	1,000千円	92千円	・地域学校協働活動推進員を3中学校区に各1名配置し、コミュニティ・スクールと地域学校協働活動との一体的推進に向けた取組みを進めた。	1,715千円	160千円	・地域学校協働活動推進員を8中学校区に9名配置し、コミュニティ・スクールと地域学校協働活動との一体的推進に向けた取組みを進めた。
(2) 私たちは、子どもたちの希望を支えます	妊産婦健診助成事業	継続	妊婦健診・妊婦歯科健診・産婦健診の費用助成	健康推進課	妊	31,642千円	25,032千円	妊婦健診、妊婦歯科健診、産婦健診の費用助成を行った。 妊婦健診実人数：291人 妊婦健診延人数：3,395人 産婦健診受診件数：444人 妊婦歯科健診実人数：132人	29,503千円	22,354千円	妊婦健診、妊婦歯科健診、産婦健診の費用助成を行った。 妊婦健診実人数：265人 妊婦健診延人数：3,176人 産婦健診受診件数：524人 妊婦歯科健診実人数：108人

宣言項目	事業名	新規継続終了	事業概要	担当部署	成長段階	令和4年度個別事業の取組実績			令和5年度個別事業の取組実績		
						予算額 (千円単位)	決算額 (千円単位)	取組成果	予算額 (千円単位)	決算額 (千円単位)	取組成果
(2) 私たちは、子どもたちの希望を支えます	不育治療費助成事業	継続	不育治療に要する費用を助成	健康推進課	妊	8,954千円	14,355千円	不妊検査・不妊治療・不育治療に要する費用を助成した。 不妊治療申請延件数：52件 不妊検査・一般不妊治療申請延件数：29件 不育治療申請件数：2件 妊娠届出件数：39件	12,632千円	6,080千円	不妊検査・不妊治療・不育治療に要する費用を助成した。 不妊治療申請延件数：29件 先進不妊治療延件数：30件 不妊検査・一般不妊治療申請延件数：29件 不育治療申請件数：2件 妊娠届出件数：45件
(2) 私たちは、子どもたちの希望を支えます	不妊治療費助成事業	継続	不妊検査・不妊治療に要する費用の全額を助成	健康推進課	妊						
(2) 私たちは、子どもたちの希望を支えます	パパママ教室	継続	妊娠・出産・育児についての学習及び妊婦の心身の健康づくりの場・家族の交流の場として開催	健康推進課	妊	90千円	66千円	妊娠・出産・育児についての学習及び妊婦とその家族の交流の場として同様に実施。 実施回数：8回 参加者：妊婦67人、夫56人 個別対応11人	134千円	120千円	妊娠・出産・育児についての学習及び妊婦とその家族の交流の場として同様に実施。 実施回数：8回 参加者：妊婦49人 夫49人 計98人
(2) 私たちは、子どもたちの希望を支えます	母子健康手帳の交付・相談支援	継続	母子健康手帳交付時に母子保健コーディネーター（助産師・保健師）が面接相談を行い、必要な支援を実施	健康推進課	妊	102千円	91千円	母子健康手帳交付時に母子保健コーディネーター（助産師・保健師）が面接相談を行い、必要な支援を実施。 母子健康手帳交付数：269件 支援計画作成：53件	98千円	81千円	母子健康手帳交付時に母子保健コーディネーター（助産師・保健師）が面接相談を行い、必要な支援を実施。 母子健康手帳交付数：276件 支援計画作成：59件
(2) 私たちは、子どもたちの希望を支えます	母子保健推進連絡会議	継続	市内産科医、小児科医、精神科医などと母子保健に関する連携	健康推進課	妊	63千円	16千円	市内産科医、小児科医、精神科医等と母子保健に関する連携会議を実施予定であったが、新型コロナウイルス感染症の影響により実施できなかった。	63千円	—	市内産科医、小児科医、精神科医等と母子保健に関する連携会議を実施予定であったが、新型コロナウイルス感染症の影響により実施できなかった。
(2) 私たちは、子どもたちの希望を支えます	子育て相談	継続	育児などに関する相談（11か月、2歳児、他年齢を問わず実施）	健康推進課	妊	乳幼児健康診査を含む	乳幼児健康診査を含む	育児などに関する相談を実施した。 11か月児相談：263人 2歳児相談：309人	乳幼児健康診査を含む	乳幼児健康診査を含む	育児などに関する相談を実施した。 11か月児相談：297人 2歳児相談：288人
(2) 私たちは、子どもたちの希望を支えます	妊婦全戸訪問事業	継続	課題の早期発見・早期支援に取り組むため、保健師、助産師、看護師などが妊娠8か月の妊婦全員の家庭を訪問し、相談に対応	健康推進課	妊	166千円	46千円	うつ等の早期発見・支援に取り組むため、保健師、助産師、看護師などが妊娠8か月の妊婦全員の家庭を訪問し、相談に対応しつながりをつくった。 妊婦訪問・来所 213 件	132千円	77千円	うつ等の早期発見・支援に取り組むため、保健師、助産師、看護師などが妊娠8か月の妊婦全員の家庭を訪問し、相談に対応しつながりをつくった。 妊婦訪問・来所 598 件
(2) 私たちは、子どもたちの希望を支えます	ネウボラみよし事業	継続	妊娠期からの相談支援に加え新たに産後ケア事業（産婦訪問、デイサービスの実施など）を実施	健康推進課	妊・乳	11,136千円	11,137千円	妊娠期からの相談支援に加え産後ケア事業【母乳育児相談助成、産後ケア（宿泊・デイ）、産前産後ヘルパー派遣事業等】の実施をした。 産前産後ヘルパー派遣事業の利用料無償化を継続するとともに、産後ケア事業ではアウトリーチ型（訪問型）を新たに開始し、妊産婦の不安や負担の軽減につなげることができた。 妊婦訪問・来所：213件 産後ケア事業（母乳育児相談助成）：52件 産後ケア事業（宿泊14日・デイ・アウトリーチ115件）：延129件 産前・産後ヘルパー派遣：実29件（延527件） 産前・産後サポート事業（母子保健推進員乳児訪問等）：4件	14,745千円	13,063千円	妊娠期からの相談支援に加え産後ケア事業【母乳育児相談助成、産後ケア（宿泊・デイ）、産前産後ヘルパー派遣事業等】の実施をして、妊産婦の不安や負担の軽減につなげることができた。 経済的負担の軽減を図るため、産後ケア事業等の利用については無償化を継続した。 妊婦訪問・来所：598件 産後ケア事業（母乳育児相談助成）：53件 産後ケア事業（宿泊37日・デイケア25件・アウトリーチ43件）：延105件 産前・産後ヘルパー派遣：実27件（延441件） 産前・産後サポート事業（母子保健推進員乳児訪問等）：47件
(2) 私たちは、子どもたちの希望を支えます	産婦健診助成の拡充	継続	1回助成を2回助成に拡充するとともに、産婦健診時に産後うつスクリーニングを実施	健康推進課	妊・乳	妊産婦健診を含む	妊産婦健診を含む	産後2回（2週・1か月）に産婦健診費用助成を行う。また産後うつスクリーニングを実施し産後うつの早期発見、支援につなげる。必要時産後2週の健診時に保健師が同席して医療機関と連携して支援を行った。 産婦健診：444件 2週間健診保健師同席：1件	2,719千円	2,433千円	産後2回（2週・1か月）に産婦健診費用助成を行う。また産後うつスクリーニングを実施し産後うつの早期発見、支援につなげる。新型コロナウイルス感染症の影響もあり、緊急性のあるケース対応の場合において2週の健診時に保健師が同席して医療機関と連携して支援を行った。 産婦健診：524件 2週間健診保健師同席：1件
(2) 私たちは、子どもたちの希望を支えます	母子保健推進員活動	継続	市が委嘱する母子保健推進員が乳幼児の家庭への訪問や地域の子育て支援行事などを実施	健康推進課	妊～幼	1,350千円	1,320千円	市が委嘱する母子保健推進員が乳幼児の家庭への訪問や地域の子育て支援行事などを実施した。 地区活動従事者人数：延1,121人 母子保健推進員研修会：5回（ブロックで実施）	1,350千円	1,290千円	市が委嘱する母子保健推進員が乳幼児の家庭への訪問や地域の子育て支援行事などを実施した。 地区活動従事者人数：延1,216人 母子保健推進員研修会：4回（ブロックで実施）
(2) 私たちは、子どもたちの希望を支えます	食育推進事業①	継続	妊娠期、授乳期、離乳期における食生活についての栄養相談、5か月から18か月頃の乳幼児の離乳食について学ぶ離乳食講座、ネウボラサテライト巡回相談、保育所・幼稚園で「子ども健塩教室」などを開催	健康推進課	妊～幼	72千円	20千円	栄養相談は、健診だけでなく、個別で電話・訪問等で対応した。 離乳食講座：15回開催（延73人）	57千円	33千円	妊娠期、授乳期、離乳期、幼児食における食生活についての栄養相談、5か月から18か月頃の乳幼児の離乳食について学ぶ離乳食講座、ネウボラサテライト栄養相談などを開催した。

宣言項目	事業名	新規継続終了	事業概要	担当部署	成長段階	令和4年度個別事業の取組実績			令和5年度個別事業の取組実績		
						予算額 (千円単位)	決算額 (千円単位)	取組成果	予算額 (千円単位)	決算額 (千円単位)	取組成果
(2) 私たちは、子どもたちの希望を支えます	乳児家庭全戸訪問事業と産婦訪問	継続	課題の早期発見・早期支援に取り組むため、保健師、助産師、母子保健推進員などが生後4か月までの乳児と産婦全員の家庭を訪問し、相談に対応	健康推進課	乳	ネウボラみよし事業を含む	ネウボラみよし事業を含む	母子の健康状況等の早期発見・支援に取り組むため、保健師、助産師、母子保健推進員などが生後4か月までの乳児と産婦全員の家庭を訪問し、相談に対応した。 産婦訪問：延290人 新生児訪問：延94人 未熟児訪問：延11人 乳児訪問：延181人	ネウボラみよし事業を含む	ネウボラみよし事業を含む	母子の健康状況等の早期発見・支援に取り組むため、保健師、助産師、母子保健推進員などが生後4か月までの乳児と産婦全員の家庭を訪問し、相談に対応した。 産婦訪問：延276人 新生児訪問：延12人 未熟児訪問：延37人 乳児訪問：延273人
(2) 私たちは、子どもたちの希望を支えます	多子世帯保育利用料（保育料）軽減事業	継続	市内の認可保育所、私立幼稚園及び認可外保育施設に入所している第2子目以降の児童に対する保育利用料（保育料）を減額	子育て支援課	乳・幼	6,861千円	3,518千円	幼稚園及び認可外保育施設に通う第2子目以降の児童に対する保育料を減額した。 対象者：140人	6,322千円	3,536千円	幼稚園及び認可外保育施設に通う第2子目以降の児童に対する保育料を減額した。 対象者：139人
(2) 私たちは、子どもたちの希望を支えます	副食費（給食費）補助事業	R01新規	私立保育所・認定こども園・私立幼稚園及び認可外保育施設に入所している3歳から5歳の児童に対する副食費（給食費）を減額・補助	子育て支援課	幼	9,684千円	8,174千円	私立幼稚園及び認可外保育施設に入所している3歳から5歳の児童に対する副食費（給食費）を補助した。 対象者：287人	10,908千円	7,876千円	私立幼稚園及び認可外保育施設に入所している3歳から5歳の児童に対する副食費（給食費）を補助した。 対象者：258人
(2) 私たちは、子どもたちの希望を支えます	子ども発達支援センター運営事業	継続	発達面に心配のある乳幼児の各種発達相談（運動発達相談、言語発達相談など）、親子通所教室、発達支援モデル保育所推進事業、地域子育て支援センター「すまいる」の運営	子育て支援課	乳・幼	28,371千円	15,152千円	発達に関する相談（運動、言語、個別、就学、保育所等巡回相談）や親子通所教室での支援、発達支援モデル保育所推進事業を行った。 利用延人数 1,215人 発達支援モデル保育所 2か所	24,837千円	23,131千円	発達面に心配のある乳幼児の各種発達相談（運動発達相談、言語発達相談など）、親子通所教室、地域子育て支援センター「すまいる」の運営の実施により、子育て支援機能を強化し、保育所との協働による一体的発達支援体制の構築を図った（発達支援モデル保育所推進事業）。 利用延人数 2,621人 発達支援モデル保育所推進事業実施保育所 3所
(2) 私たちは、子どもたちの希望を支えます	地域子育て支援センター運営事業	継続	市内8か所の地域子育て支援センターを拠点とし、遊び場の提供、子育て相談、子育て講座など、地域の子育てニーズに対応した事業を実施	子育て支援課	乳・幼	48,835千円	48,502千円	令和4年12月に地域子育て支援センター「みつばち」を三良坂支所内に移転し、市内7か所で事業を展開した。 年間延べ利用者数（親子総数） 公営3か所 5,534人 民営3か所 6,928人	49,715千円	49,479千円	市内7か所で事業を実施した。公営3か所はネウボラみよしサテライトとして、定期的に保健師、栄養士が巡回相談を実施した。 年間延べ利用者数（親子総数） 公営3か所 5,827人 民営3か所 9,702人
(2) 私たちは、子どもたちの希望を支えます	3歳未満児保育所入所枠拡充事業	R01終了	3歳未満児の受入可能な施設整備及び人材確保	子育て支援課	乳・幼	—	—	—	—	—	—
(2) 私たちは、子どもたちの希望を支えます	1歳6か月児健診事後教室	終了	1歳6か月児健診後、発達の支援を行う	健康推進課	乳・幼	192千円	96千円	1歳6か月児健診後、発達の支援を行うため、子ども発達支援センター、子鹿医療療育センター、保育所等との連携を実施した。 心理相談の回数を増やし、早期の相談や支援に取り組んだ。	—	—	1歳6か月児健診後、発達の支援を行うため、子ども発達支援センター、子鹿医療療育センター、保育所等と必要時協議等を行い連携を図った。 心理相談の回数を増やし、早期の相談や支援に取り組んだ。
(2) 私たちは、子どもたちの希望を支えます	乳幼児健康診査	継続	4か月児、1歳6か月児、3歳児の健康診査を実施	健康推進課	乳・幼	3,267千円	3,059千円	4か月児、1歳6か月児、3歳児の健康診査を実施した。 乳児健診：24回295人 1歳6か月児：18回344人 3歳児：18回340人	4,017千円	3,694千円	4か月児、1歳6か月児、3歳児の健康診査を実施した。 乳児健診：24回274人 1歳6か月児：18回260人 3歳児：18回316人
(2) 私たちは、子どもたちの希望を支えます	発達支援事業	継続	ことばの遅れや落ち着きがないなど、発達の悩みに対し、療育教室や相談などを実施	子育て支援課	乳・幼	—	—	子ども発達支援センター運営事業において実施した。	—	—	子ども発達支援センター運営事業において実施する。
(2) 私たちは、子どもたちの希望を支えます	障害児保育事業	継続	発達に課題のある児童に対し職員を配置した私立、民間委託保育所に助成	子育て支援課	乳・幼	25,600千円	20,751千円	障害児などに対する支援保育士の人件費を助成し、職員体制整備の補償を行った。 保育所：3所 認定こども園：1園	25,726千円	20,751千円	障害児などに対する支援保育士の人件費を助成し、職員体制整備の補償を行った。 保育所：3所 認定こども園：1園
(2) 私たちは、子どもたちの希望を支えます	医療的ケア児保育支援事業	R04新規	保育所における医療的ケア児の受入体制の整備	子育て支援課	乳・幼	6,345千円	0円	実施なし	6,251千円	0千円	実施なし
(2) 私たちは、子どもたちの希望を支えます	一時預かり保育	継続	一時的に保育が必要となる場合、保育サービスを実施	子育て支援課	乳・幼	6,140千円	6,160千円	一時預かり保育を実施する私立保育所・認定こども園等に補助金を交付し、保育サービス提供体制を確保するための支援を行った。 3施設、延人数649人	6,482千円	5,963千円	一時預かり保育を実施する私立保育所・認定こども園等に補助金を交付し、保育サービス提供体制を確保するための支援を行った。 3施設、延人数646人
(2) 私たちは、子どもたちの希望を支えます	休日保育	継続	休日に保育ができない事情がある場合に、保育サービスを実施	子育て支援課	乳・幼	3,322千円	3,355千円	東光保育所において実施 延人数297人	3,298千円	3,484千円	東光保育所において実施 延人数332人
(2) 私たちは、子どもたちの希望を支えます	病児・病後児保育	継続	子どもが病気の回復期または回復期に至らない場合で、家庭で保育できない場合に保育サービスを実施	子育て支援課	乳～小	10,452千円	9,944千円	開設日数・利用者数 病児・病後児保育室 すくすく244日・100人 病後児保育室 おひさま294日・43人（R4年度で終了）	7,000千円	6,926千円	令和5年4月から、病児・病後児保育室「すくすく」と病後児保育室「おひさま」を統合し、病児・病後児保育室「すくすく」の開設を週5日（月～金曜日）から週6日（月～土曜日）に変更した。 開設日数293日 延べ利用者数193人

宣言項目	事業名	新規継続終了	事業概要	担当部署	成長段階	令和4年度個別事業の取組実績			令和5年度個別事業の取組実績		
						予算額 (千円単位)	決算額 (千円単位)	取組成果	予算額 (千円単位)	決算額 (千円単位)	取組成果
(2) 私たちは、子どもたちの希望を支えます	子育てサポート事業	継続	子育ての援助をしたい「まかせて会員」が、子育ての援助をしてほしい「おねがい会員」の子どもを自宅で預かる援助活動	子育て支援課	乳～小	4,706千円	3,687千円	活動件数：464件 活動時間：1,441時間 会員数：793人	2,157千円	1,048千円	活動件数：604件 活動時間：2,078時間 会員数：742人
(2) 私たちは、子どもたちの希望を支えます	子ども医療費助成事業	継続	子どもの医療費を助成	子育て支援課	乳～高	140,000千円	135,373千円	18歳までの子どもの医療費を助成 対象者：6,903人	162,009千円	161,182千円	18歳までの子どもの医療費を助成 対象者：6,731人
(2) 私たちは、子どもたちの希望を支えます	ひとり親家庭高等学校卒業程度認定試験合格支援事業	継続	ひとり親家庭の親及び子が、高卒認定試験の合格をめざす場合に、対策講座の受講費用の一部を支給（市の上乗せ支給有）	子育て支援課	乳～高	150千円	0千円	児童扶養手当現況時（8月）に制度説明を行ったが、利用者はいなかった。	150千円	—	児童扶養手当現況時（8月）や広報みよし等で制度説明を行ったが、利用者はいなかった。
(2) 私たちは、子どもたちの希望を支えます	ひとり親家庭高等職業訓練促進費給付事業	継続	ひとり親家庭の親が就職に有利な資格取得のため養成機関で1年以上修業をする場合に、修業期間中に給付金を支給（市の上乗せ支給有）	子育て支援課	乳～高	6,410千円	3,082千円	訓練促進給付金支給人数：2人 （継続：2人）	6,410千円	4,850千円	訓練促進給付金支給人数：3人 （修了1人，継続2人）
(2) 私たちは、子どもたちの希望を支えます	ひとり親家庭等家賃補助事業	H30終了	離婚などによるひとり親家庭などの生活の激変を一定期間緩和するため、市内の民間アパートなどに居住するひとり親家庭などに対し、家賃の一部を補助	子育て支援課	乳～高	—	—	—	—	—	—
(2) 私たちは、子どもたちの希望を支えます	ひとり親家庭等住居確保事業	R01新規	ひとり親家庭等になって最初に住居を準備する際の引越費用、賃貸住宅契約時の費用や家賃の一部を補助する。	子育て支援課	乳～高	3,856千円	3,335千円	ひとり親家庭等住居確保支援事業 補助人数：40人（旧事業含む）	3,100千円	1,806千円	ひとり親家庭等住居確保支援事業 補助人数：23人
(2) 私たちは、子どもたちの希望を支えます	ひとり親家庭等家計管理講習会・個別相談事業	R01新規	ひとり親家庭等の親を対象に、子育てに必要な資金等、将来を見据えて家計を管理する能力の向上と、自立につなげる。（平成31年度から新規の家賃補助受給者は、受講必須）	子育て支援課	乳～高	305千円	64千円	・講習会を計3回実施 ・受講人数：11人	252千円	41千円	講習会を2回実施 受講人数：3人
(2) 私たちは、子どもたちの希望を支えます	ひとり親家庭等スポーツ観戦・文化鑑賞事業	継続	ひとり親家庭などを対象にスポーツ観戦や文化鑑賞の機会を提供	子育て支援課	乳～高	500千円	132千円	SHISHAMOワンマンツアー2022秋「NICE TO MEET YOU」 town!!!～10年目の初上陸～ 9世帯24人	500千円	185千円	コンサート「CHEMISTRY ホールツアー2024 「BEGINS」」（2月15日） 参加者：9世帯21人
(2) 私たちは、子どもたちの希望を支えます	子どもと家庭及び女性に関する相談	継続	・専門の相談員などによる、児童虐待、養育困難などに関する相談、母子・父子家庭の家庭紛争、就労、資金貸付などの相談、配偶者からの暴力などに関する相談の対応	子育て支援課	乳～高	16,581千円	15,572千円	○婦人相談件数 308件（実人数61人） うちDV相談 151件（実人数25人） ○児童家庭相談 483件（実人数99人） ○母子・父子自立支援相談 331件（実人数211人） ○すくすくネットワーク協議会（要保護児童対策地域協議会）関係会議開催 代表者会議1回、実務者会議6回 個別ケース検討会議12回 ○ペアレントトレーニング保護者教室（はなまる教室）全6回実施	20,072千円	17,153千円	○婦人相談件数 403件（実人数65人） うちDV相談 124件（実人数19人） ○児童家庭相談 476件（実人数110人） ○母子・父子自立支援相談 322件（実人数244人） ○すくすくネットワーク協議会（要保護児童対策地域協議会）関係会議開催 代表者会議1回、実務者会議6回 個別ケース検討会議14回 ○ペアレントトレーニング保護者教室（はなまる教室）全6回実施
(2) 私たちは、子どもたちの希望を支えます		継続	・要保護児童対策地域協議会（すくすくネットワーク）により、児童相談所、警察などとの連携による虐待の発生予防、早期発見、早期対応など								
(2) 私たちは、子どもたちの希望を支えます		継続	・育児に悩んでいる保護者に、子どもと上手に関わるコツを学習するペアレントトレーニング保護者教室を開催								
(2) 私たちは、子どもたちの希望を支えます	母子家庭等自立支援教育訓練給付事業	継続	ひとり親家庭の親が医療事務などの対象講座を受講した場合、受講料の一部を支給	子育て支援課	乳～高	200千円	0千円	児童扶養手当現況届出時（8月）に制度説明も行ったが、利用者はいなかった。	400千円	—	児童扶養手当現況時（8月）や広報みよし等で制度説明を行ったが、利用者はいなかった。
(2) 私たちは、子どもたちの希望を支えます	ひとり親家庭等医療費助成	継続	ひとり親家庭の親又は養育者とその児童の医療費の自己負担分の一部を助成	子育て支援課	乳～高	19,781千円	16,133千円	受給者数：604人 支払件数：6,300件	18,738千円	17,592千円	受給者数：555人 支払件数：6,739件
(2) 私たちは、子どもたちの希望を支えます	3歳児健診視力検査事業	継続	視力検査機器の導入による早期発見	健康推進課	幼	33千円	33千円	問診、ランドルト式検査、視力検査機器の導入による早期発見を行い適切な支援につなげた。 340人実施	20千円	20千円	問診、ランドルト式検査、視力検査機器の導入による早期発見を行い適切な支援につなげた。 316人実施
(2) 私たちは、子どもたちの希望を支えます	子どもの居場所づくり推進事業	継続	主に保護者が就労などにより昼間家庭にいない小学生を対象とした生活拠点としての支援など	文化と学びの課	小	223,859千円	208,576千円	・放課後児童クラブ（公営20ヶ所，委託1ヶ所） 利用者数 707人 ・小規模型放課後児童クラブ事業補助金交付（1ヶ所） 利用者数：10人 ・放課後子ども教室（10ヶ所） ・八次子ども集会所整備（八次第1・2・3・4・5放課後児童クラブの集約）	189,553千円	184,241千円	・放課後児童クラブ（公営20ヶ所，委託1ヶ所） 利用者数平均 739人 ・小規模型放課後児童クラブ事業補助金交付（1ヶ所） 利用者数：10人 ・放課後子ども教室（10ヶ所） ・酒河・和田放課後児童クラブの小学校への移転

宣言項目	事業名	新規継続終了	事業概要	担当部署	成長段階	令和4年度個別事業の取組実績			令和5年度個別事業の取組実績		
						予算額 (千円単位)	決算額 (千円単位)	取組成果	予算額 (千円単位)	決算額 (千円単位)	取組成果
(2) 私たちは、子どもたちの希望を支えます	青少年育成講習会「命の授業」	継続	小学生を対象として、命と身体についての正しい知識と、相手に対する思いやりや、命の大切さについて学ぶ講座を開催	健康推進課	保・小	—	—	小学生を対象として、命と身体についての正しい知識と、相手に対する思いやりや、命の大切さについて学ぶ講座を開催する。さらに保育所でのいのちの授業も開催する。保育所4所で開催 参加人数(児童・保護者等71人) 小学校8校23回実施 参加人数(児童・保護者等572人)	122千円	55千円	小学生を対象として、命と身体についての正しい知識と、相手に対する思いやりや、命の大切さについて学ぶ講座を開催する。さらに保育所でのいのちの授業も開催した。保育所 6か所で開催 参加人数(園児94人・保護者等 56人) 小・中学校、高校 26回実施 参加人数(児童・生徒577人・保護者等 198人)
(2) 私たちは、子どもたちの希望を支えます		継続		文化と学びの課							
(2) 私たちは、子どもたちの希望を支えます	学校支援員等配置事業【学校支援員＜教育支援員＞】(R4年度まで) 個々の学び支援事業	継続	通常の学級に在籍する特別な配慮が必要な児童生徒にきめ細やかな支援・指導の充実を図るために学校支援員及び教育支援員を配置	学校教育課	小・中	67,149千円	61,659千円	・16校29人の学校支援員及び教育支援員を配置 ・担任等と連携を図りながら学校支援員がきめ細やかな支援や指導を行うことで、児童生徒の学力の向上や生活力の向上につながった。	67,888千円	64,510千円	・12校28人の学校支援員及び教育支援員を配置 ・担任等と連携を図りながら学校支援員がきめ細やかな支援や指導を行うことで、児童生徒の学力の向上や生活力の向上につながった。
(2) 私たちは、子どもたちの希望を支えます	いじめ防止・不登校対策推進事業	継続	不登校の未然防止などのために、学校・家庭・地域が連携して取り組むための教育相談員、地域サポーターなどを配置	学校教育課	小・中	21,244千円	19,655千円	総合質問紙調査を実施して、子どもたちの学級環境や社会性などを分析し、学級経営の充実や教師と子どもたちの信頼関係、子どもたち相互の好ましい人間関係を育てるために活用した。三次市こども応援センターや三次市教育支援ルーム(適応指導教室)においては、教育相談員や青少年指導相談員、スクールカウンセラーによる相談体制の充実を図り、学校や子ども、その保護者からの就学や不登校などの不安や悩みに対して相談・助言を行い、悩み解消に向けての取組を進めた。さらに、市内小中学校に、三次市スクールサポーターを派遣し、学校内外を巡回したり、教職員へ生徒指導対応などの助言を行い、安全・安心な学校づくりを推進した。	21,146千円	19,659千円	・総合質問紙調査を実施し、学級経営の充実や教師と子どもたちの信頼関係、子どもたち相互の好ましい人間関係を育てるために活用した。 ・三次市こども応援センターや三次市教育支援ルームの充実を図った。 ・市内小中学校に、三次市スクールサポーターを派遣した。
(2) 私たちは、子どもたちの希望を支えます	就学援助事業	継続	家庭の経済的理由のために就学困難と認められる児童生徒の保護者に対して、学用品などの経費を援助	学校教育課	小・中	46,581千円	45,956千円	学用品費等、学校給食費、医療費の援助を行った。	48,255千円	45,779千円	学用品費等、学校給食費、医療費の援助を行った。
(2) 私たちは、子どもたちの希望を支えます	学校支援員等配置事業【特別支援教育＜障害児介助指導員＞】(R4年度まで) 個々の学び支援事業	継続	特別支援学級において生活支援等の特別な支援を必要とする児童生徒に対して、基本的な生活習慣確立のための日常生活上の介助や学習支援を行うほか、児童生徒の安全面の確保などと担うため、障害児介助指導員を配置	学校教育課	小・中	48,591千円	43,555千円	・障害児介助指導員12校に23人配置 ・障害のある児童生徒一人ひとりの教育的ニーズや障害の状態に応じた指導を行うことができた。	49,230千円	46,479千円	・障害児介助指導員13校に23人配置 ・障害のある児童生徒一人ひとりの教育的ニーズや障害の状態に応じた指導を行う。
(2) 私たちは、子どもたちの希望を支えます	学校ICT整備事業	H30終了	特別支援学級にICT機器を導入し、障害の状態や発達の段階などを踏まえた個々の教育的ニーズに即した指導の実施	学校教育課	小・中	—	—	—	—	—	—
(2) 私たちは、子どもたちの希望を支えます	学びの支援活動推進事業	継続	子どもが生まれ育った環境にかかわらず基礎学力が定着できるよう、住民自治組織などの非営利団体が学習支援を実施する場合の補助や学習補充などの実施	文化と学びの課	小～高	1,000千円	1,000千円	地域の学習指導活動事業の補助支援を行った。支援実績：1件・1,000,000円	1,000千円	1,000千円	地域の学習指導活動事業の補助支援を行った。支援実績：1件・1,000,000円
(2) 私たちは、子どもたちの希望を支えます	青少年育成講演会「性と生を考える講演会」	継続	中学生以上を対象とした、自分の心と身体、性について学ぶ講演会の実施	文化と学びの課	中・高	62千円	62千円	中高生とその保護者及び教員を対象に、青少年育成講演会「性と生を考える講演会」を開催。参加者：布野中14人、十日市中106人	62千円	62千円	中高生とその保護者及び教員を対象に、青少年育成講演会「性と生を考える講演会」を開催。参加者：三次中50人、吉舎中47人
(2) 私たちは、子どもたちの希望を支えます	ひとり親家庭等入学支度金	継続	ひとり親家庭の子どもが高等学校、大学などに入学する際に入学支度金を支給	子育て支援課	高	1,500千円	1,230千円	高等学校等入学支度金(3万円)支給者数：41人	1,500千円	1,170千円	高等学校等入学支度金(3万円)支給者数：39人
(2) 私たちは、子どもたちの希望を支えます	三次市教育奨学金	継続	就学の意欲と能力を有するにもかかわらず、経済的理由によって就学が困難な生徒に対し、奨学金を無利子で貸与	文化と学びの課	高	10,000千円	10,000千円	高等学校、大学等に在学する経済的理由により就学困難な生徒・学生に奨学金を貸付けを行った 実績：83件・41,125千円 三次市教育奨学金基金への基金繰入：10,000千円	10,000千円	10,000千円	高等学校、大学等に在学する経済的理由により就学困難な生徒・学生に奨学金を貸付けを行った 実績：71件・35,040千円 三次市教育奨学金基金への基金繰入：10,000千円
(3) 私たちは、子どもたちのチャレンジを応援します	ひろしまの森づくり事業(里山林整備事業)	継続	森林体験学習や森林ボランティアの育成活動など、地域住民やNPO法人、企業などが地域ニーズに応じて取り組む自主的な活動を支援	農政課	幼～高	37,348千円	34,739千円	里山林の整備を行い、里山が持つ多面的機能の維持・増進が図られた。また、体験活動等により、環境保全や森林の重要性について、市民や児童・生徒の理解が深まった。 森林・林業体験活動 8団体(519名) 里山保全活用支援 7団体	32,300千円	32,271千円	里山林の整備を行い、里山が持つ多面的機能の維持・増進が図られた。また、体験活動等により、環境保全や森林の重要性について、市民や児童・生徒の理解が深まった。 森林・林業体験活動 6団体(331名) 里山保全活用支援 8団体

宣言項目	事業名	新規継続終了	事業概要	担当部署	成長段階	令和4年度個別事業の取組実績			令和5年度個別事業の取組実績		
						予算額 (千円単位)	決算額 (千円単位)	取組成果	予算額 (千円単位)	決算額 (千円単位)	取組成果
(3) 私たちは、子どもたちのチャレンジを応援します	子ども用調理器具・食育媒体貸し出し事業	継続	子ども用の調理器具や食育媒体の貸し出し（無料）	健康推進課	幼～高	—	—	・子ども用の調理器具 貸出件数：8件 ・食育媒体「みよし版食育かるた」 貸出件数：1件	—	—	・子ども用の調理器具 貸出件数：16件
(3) 私たちは、子どもたちのチャレンジを応援します	平和祈念事業	継続	平和への機運醸成のため、平和の灯ろうコンテスト作品や平和折り鶴を募集するとともに、平和のつどいを開催	定住対策・暮らし支援課	幼～高	775千円	414千円	・「平和のつどい MIYOSHI2022」では、「平和の灯ろうコンテスト」と「平和への想い（一筆箋）」作品の表彰を行うとともに、平和の灯ろうに点火し、三良坂から平和への想いを発信した。 ・平和の灯ろうコンテストには、419点の応募があり、幼児の部・小学生の部・中学生の部・一般（高校生含む）の4部門で表彰した。 ・平和への思いを込めた平和折り鶴の募集には、市民から27,243羽の折り鶴が寄せられ、平和への願いとともに広島市の平和記念公園の原爆の子の像へ手向けた。	477千円	406千円	・「平和のつどい MIYOSHI2023」では、「平和の灯ろうコンテスト」と「平和への想い（一筆箋）」作品の表彰を行うとともに、平和の灯ろうに800軌基に点火し、三良坂から平和への想いを発信した。 ・平和の灯ろうコンテストには、375点の応募があり、幼児の部・小学生の部・中学生の部・一般（高校生含む）の4部門で表彰した。 ・平和への思いを込めた平和折り鶴の募集には、市民から37,020羽の折り鶴が寄せられ、平和への願いとともに広島市の平和記念公園の原爆の子の像へ手向けた。
(3) 私たちは、子どもたちのチャレンジを応援します	食育推進事業②	継続	三次市食生活推進協議会と連携した児童クラブ食育講座や食育川柳の募集等により食育を啓発	健康推進課	小	5千円	4千円	児童クラブ食育講座は、食生活推進協議会と連携し、1か所で実施。14人の児童に「食育5つの力」や「食育クイズ」を通して、啓発を行った。小学生を対象とした「食育川柳コンクール」を実施し、20校・1,103人から応募があった。	60千円	44千円	三次市食生活改善推進協議会と連携し、児童クラブ食育講座（調理実習も含む）の実施。
(3) 私たちは、子どもたちのチャレンジを応援します	スポーツのまちみよし応援事業（子どもの夢を応援事業） (R2年度まで) トップアスリートによるスポーツ教室	継続	子どもの競技力とスポーツへの関心を高めることをめざして、プロスポーツ選手などによるスポーツ教室の開催を支援	地域振興課	小	1,610千円	972千円	【スポーツのまちみよし応援事業（子どもの夢を応援事業）】 プロスポーツ選手等による子どものスポーツ教室実施に対し補助金を交付した。 ・三次地区女子サッカースクールプロジェクト（参加者延100人） ・中四国女子硬式野球リーグ「ルビー・リーグ」第1回野球教室 ・広島ドラゴンフライズによるバスケットボールクリニック（参加者40人） ・三次市少年野球教室inきみた ・野球がもっと好きになるデイ（少年野球教室） ・広島東洋カープ「ガールズ広島練習会」 ・E N E O S 女子野球教室開催 ・広島ドラゴンフライズ選手学校訪問事業	1,720千円	1,036千円	【トップアスリートによるスポーツ教室】 プロ選手やトップアスリートによるスポーツ教室、交流事業などの支援を行った。 ・サンフレッチェ広島レジーナ女子サッカースクールプロジェクト（参加者400人） ・三次市野球教室inきみた（参加者180人）
(3) 私たちは、子どもたちのチャレンジを応援します	部活動指導員配置事業	R03新規	部活動指導員を配置することによる、部活動の充実と教職員の負担軽減	学校教育課	中	4,373千円	3,587千円	卓球部2人、バスケットボール部、野球部、サッカー部、ソフトテニス部、吹奏楽部、音楽部、計8人の部活動指導員を5校に配置しました。配置した全ての学校から、「部活動指導員による単独指導により顧問の負担が軽減されている」という回答が得られている。	6,789千円	4,952千円	運動部7名、文化部4名の部活動指導員を6校に配置した。配置した全ての学校から、「部活動指導員による単独指導により顧問の負担が軽減されている」という回答が得られた。
(3) 私たちは、子どもたちのチャレンジを応援します	英語力向上事業 (R元年度まで) 小中学校外国語推進事業	継続	A L T などによる小学校外国語活動、中学校外国語授業を実施	学校教育課	小・中	59,000千円	58,997千円	・全校に外国語指導助手（ALT）11人を計画的に配置。 ・児童生徒の外国語によるコミュニケーション能力の向上を図ることができた。	58,998千円	58,997千円	・全校に外国語指導助手（ALT）11人を計画的に配置した。 ・小中学生を対象にしたイングリッシュキャンプを実施した。 ・児童生徒の外国語によるコミュニケーション能力の向上を図った。
(3) 私たちは、子どもたちのチャレンジを応援します	国際交流推進事業	継続	姉妹都市、友好都市などとの交流の推進及び子どもたちが世界の文化に触れる体験を通じて豊かな国際感覚を育成	定住対策・暮らし支援課	小・中	4,948千円	71千円	中学生を対象とした海外友好・姉妹都市との訪問・受入などの交流事業は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大を受け、安全性を考慮し事業中止となった。	8,812千円	444千円	姉妹都市・友好都市から訪問団を受入れ、ホームステイや学校間の交流を通じて文化、習慣などの違いを経験することで、国際感覚豊かな人材の育成を図りました。 ・アメリカス市訪問団受入れ：中学生7人 ・インド・ハイデラバード市交流：中学生47人
(3) 私たちは、子どもたちのチャレンジを応援します	全国川サミット開催事業	H30終了	「市民ホールきりり」で開催する全国川サミットで市内外の小中学生が行う学習発表や専門家による川に関する講演の聴講を通じ、郷土の特徴である三川合流部などの河川環境への関心を高め、ふるさとの川への愛着心を育成	都市建築課	小・中	—	—	—	—	—	—
(3) 私たちは、子どもたちのチャレンジを応援します	電力監視装置設置「見える化」事業	R01新規 R01終了	学校への電力監視装置の設置による見える化事業を通じて、学校内の電力使用量の監視と使用効率を考え省エネルギーにつなげる教育を実施	環境政策課	小・中	—	—	—	—	—	—
(3) 私たちは、子どもたちのチャレンジを応援します	子ども夢・未来塾	R01終了	夢を与える場を提供（イングリッシュ・キャンプ、トップアスリートの招聘）	学校教育課	小・中	—	—	—	—	—	—

宣言項目	事業名	新規継続終了	事業概要	担当部署	成長段階	令和4年度個別事業の取組実績			令和5年度個別事業の取組実績		
						予算額 (千円単位)	決算額 (千円単位)	取組成果	予算額 (千円単位)	決算額 (千円単位)	取組成果
(3) 私たちは、子どもたちのチャレンジを応援します	まち・ゆめ基本条例啓発事業	継続	条例の若者への周知を目的に、中学生まちづくり作文募集及び優秀作品の表彰を実施	地域振興課	中	12千円	12千円	小学校6年生、中学校1年生を対象に啓発用資料を配布し、中学生まちづくり作文の募集を行い、各学年の優秀作品の表彰を行った。(応募数42作品)	3千円	3千円	小学校6年生、中学校1年生を対象に啓発用資料を配布し、中学生まちづくり作文の募集を行い、各学年の優秀作品の表彰及び広報みよしへの掲載を行った。
(3) 私たちは、子どもたちのチャレンジを応援します	がんばる中学生の英語学習応援事業	R03終了	実用英語技能検定の受検機会の拡大による中学生の英語力及び学習意欲の向上を図るため検定料の全額を補助	学校教育課	中	—	—	—	—	—	—
(3) 私たちは、子どもたちのチャレンジを応援します	魅力ある高校づくり支援事業 (海外インターンシップ研修支援事業)	R02終了	市内3高校における魅力向上につながる校内活動や地域貢献活動を支援	文化と学びの課	高	—	—	—	—	—	—
(3) 私たちは、子どもたちのチャレンジを応援します	高校生キャリア育成事業 (インターンシップ制の普及促進)	継続	市内の高校生に市内企業の事業活動を知ってもらい、将来、市内企業への就業と定住を促進	商工観光課	高	585千円	168千円	本市と、三次市雇用労働対策協議会及び市内高校(三次高校、三次青陵高校、日影館高校)の主催により、市内高校1・2年生を対象に、市内企業(雇用労働対策協議会会員)説明会を実施 【取組成果】市内企業への興味・関心を持ってもらうことにより、市内企業への就業と定住の啓発を図ることができた。 【決算額】147,642円(自動車借上料ほか) 【実施日】令和5年2月9日(木) 【会場】市民ホールきりり 【参加企業】10社 【参加者】173人	660千円	533千円	本市と、三次市雇用労働対策協議会及び市内高校(三次高校、三次青陵高校、日影館高校)の主催により、市内高校1・2年生を対象に、市内企業(雇用労働対策協議会会員)説明会を実施 【取組成果】市内企業への興味・関心を持ってもらうことにより、市内企業への就業と定住の啓発を図ることができた。 【決算額】533,082円(自動車借上料ほか) 【実施日】令和6年1月23日(火) 【会場】市民ホールきりり及び企業 【参加企業】22社 【参加者】330人
(3) 私たちは、子どもたちのチャレンジを応援します	三次市高校生国際理解支援事業補助金 (R4年度まで) グローバル人材育成事業補助金	R03新規	市内高等学校での国際交流活動を通して、語学力の向上や異文化への理解を育み、国際感覚豊かな人材の育成を支援	定住対策・暮らし支援課	高	1,800千円	147千円	市内高等学校での国際交流活動の一部を補助した。 【活動参加者】日影館高等学校 209人 留学生との町歩きガイドツアー 留学生による母国語講座受講	900千円	831千円	市内高等学校での国際交流活動の一部を補助した。 【活動参加者】 日影館高等学校 77人 JAICAによるワークショップ形式の講座受講 留学生による母国語講座受講 台湾研修 三次青陵高校 11名 台湾研修
(3) 私たちは、子どもたちのチャレンジを応援します	みよし未来環境会議	R05新規	(仮)カーボンニュートラル宣言、(仮)脱炭素条例に、未来の環境づくりの主体となる市内中・高校生の感性や意思を反映	環境政策課	中・高	—	—	—	2,135千円	3,194千円	市内の中高校生8名の参加申込みがあり、全員をサステナアンバサダーとして市長が任命し、以降、フィールドワークやワークショップなど10回を超える活動の成果を「未来への決意とメッセージ」として取りまとめ、市長に提言いただいた。 また、活動成果を周知啓発するため、ポスター(100部×2種)、チラシ(28,000部)及び啓発動画の作成した。